

## プリンセス・クルーズ 旅行会社向けトレーニング・プログラム 「プリンセス・アカデミー」スタッフ・キャプテン・レベル開講

新しい旅のスタイルとして注目度が高まっているクルーズ。その販売に必要な知識が学べる、プリンセス・クルーズの旅行会社向けトレーニング・プログラム「プリンセス・アカデミー」は、全世界で5万人以上が参加している。日本では昨年、「プリンセス・アカデミー」の日本語版が開設された。全部で4段階のレベルがある「プリンセス・アカデミー」だが、昨年の日本語版開設時は、最初のレベルである「ファースト・オフィサー・レベル」からスタートした。その後、「ファースト・オフィサー・レベル」の合格者が日本でも100名以上となり、この大きな反響を受け、2段階目のレベルとなる「スタッフ・キャプテン・レベル」が、このほど開講となった。

「プリンセス・アカデミー」は、プリンセス・クルーズのオンライン予約システム「ポーラー・オンライン」を導入している旅行会社であれば、すぐに登録でき、受講が開始できる。同アカデミーは、クルーズ旅行をあらゆる角度から詳細に説明するコースを提供している。今回、開講された「スタッフ・キャプテン・レベル」では下記5つのコースについて学ぶ事ができる。

- ・ 船上での体験
- ・ お食事のチョイス
- ・ クルーズについてのよくある質問
- ・ アラスカ2014
- ・ ヨーロッパ2014

上記の5コースを完了すると、「スタッフ・キャプテン・レベル」に到達。その特典のひとつとして、「ファースト・オフィサー・レベル」とは異なるピンバッジを進呈するので、これを付けていれば、プリンセス・クルーズについて、より深い知識を持つ販売員だということを顧客に伝える事ができる。全4段階のレベルを完了すると「コモドアー・レベル」に到達し、アカデミー卒業記念の無料クルーズに参加する機会も用意している。

世界中で多くの旅行会社が売り上げ増大に活用している「プリンセス・アカデミー」の受講者が日本でも増えていることは、日本の旅行会社でもプリンセス・クルーズに関する知識を習得し、販売に役立てている販売員が増えているということを意味する。

プリンセス・クルーズは、世界的なクルーズ会社として過去最大規模で日本市場への配船を決定。2013年のサン・プリンセスでの成功を踏まえ、2014年はサン・プリンセスに加え、日本の三菱重工長崎造船所で建造されたダイヤモンド・プリンセスも投入。2隻で、横浜、神戸、外国客船初の小樽をホームポートとし、5～11日間の日程で、合計42本と、日本発着クルーズを更に拡大。約10万人の送客を予定している。

以上